

授業科目名		対象学科・専攻	年次	期別
現代教師論 Teaching Modern Teachers		児童教育学科 初等教育学専攻	1年次	後期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	教員免許状取得 必修/選択必修	担当教員	担当形態
講義	2	必修	鈴木 隆子	単独

科目	施行規則に定める科目区分又は事項等
教育の基礎的理解に関する科目	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）

○コアカリキュラム：教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）

全体目標：現代社会における教職の重要性の高まりを背景に、教職の意義、教員の役割・資質能力・職務内容等について身に付け、教職への意欲を高め、さらに適性を判断し、進路選択に資する教職の在り方を理解する。

（1）教職の意義

一般目標：我が国における今日の学校教育や教職の社会的意義を理解する。

到達目標：1）公教育の目的とその担い手である教員の存在意義を理解している。

2）進路選択に向け、他の職業との比較を通して、教職の職業的特徴を理解している。

（2）教員の役割

一般目標：教育の動向を踏まえ、今日の教員に求められる役割や資質能力を理解する。

到達目標：1）教職観の変遷を踏まえ、今日の教員に求められる役割を理解している。

2）今日の教員に求められる基礎的な資質能力を理解している。

（3）教員の職務内容

一般目標：教員の職務内容の全体像や教員に課せられる服務上・身分上の義務を理解する。

到達目標：1）幼児、児童及び生徒への指導及び指導以外の校務を含めた教員の職務の全体像を理解している。

2）教員研修の意義及び制度上の位置付け並びに専門職として適切に職務を遂行するため生涯にわたって学び続けることの必要性を理解している。

3）教員に課せられる服務上・身分上の義務及び身分保障を理解している。

（4）チーム学校への対応

一般目標：学校の担う役割が拡大・多様化する中で、学校が内外の専門家等と連携・分担して対応する必要性について理解する。

到達目標：1）校内の教職員や多様な専門性を持つ人材と効果的に連携・分担し、チームとして組織的に諸課題に対応することの重要性を理解している。

【全体目標及び概要】

国民の大きな負託の中で営まれる学校教育の社会的意義を認識するとともに、その担い手としての教職の意義・役割・職務内容、教育をとりまく現況や今日的課題などを明確に理解することを通して、教員に求められる基礎的な資質能力を身に付け、教職をめざす者としての確固たる覚悟を培う。

【一般目標及び到達目標】

目標対応

（1）教職の意義・教員の身分

一般目標：国民の大きな負託の中で営まれる学校教育の社会的意義を理解する。

到達目標：1）学校教育の目的とその担い手である教職の存在意義を説明できる。

(1)-1)

(2)-1)

到達目標：2）教職の制度上の身分、専門職としての教員免許制度を自分の問題として説明できる。

(1)-2)、(3)-3)

（2）教員の役割・職務内容

一般目標：教職の職業的特殊性を認識し、これからの学校組織の在り方としての「チーム学校」の概念や組織の一員として各専門分野の人々と連携して諸課題に対応することの必要性について理解する。

到達目標：1）教職の勤務実態を調べ、他の職業と比較した職業的特殊性を説明できる。

(1)-2)

(3)-1)

到達目標：2）学校の担う役割が複雑化・多様化する中で、いわゆる「チーム学校」という組織の一員としての在り方を具体的にイメージできる。

(2)-1)、(4)-1)

（3）教員の資質・能力

一般目標：学校教育の成否は、教員の資質能力に負うところが大きく、これからの時代に求められる学校教育を実現するためには、生涯にわたって学び続けることの必要性を理解する。

到達目標：1）専門職としての身分保障、職務遂行の義務を踏まえて、生涯にわたって「学び続ける教師」であるための研修の全体像、権利と義務を具体的に説明できる。

(3)-2)

到達目標：2）求められる教師像について考察し、めざす教師像を述べるができる。

(2)-2)

到達目標：3）教育をとりまく今日的な諸課題を把握し、対応の仕方について具体的に述べるができる。

(2)-1)、(4)-1)

回数	現在教師論 授業内容 【鈴木隆子】	到達目標の番号	コアカリキュラム対応
1	オリエンテーション —現代教師論でなにを学ぶか—	1-1)	(1)-1)、(2)-1)
2	教員の身分① —法的な身分、資格、免許状・免許更新制—	1-2)	(1)-2)、(3)-3)
3	目指す教師像① —子どもたちにどう向き合うか—	3-2)	(2)-2)
4	目指す教師像② —演習「わたしの出会った先生」—	3-2)	(2)-2)
5	目指す教師像③ —求められる教師像・教師力—	3-2)	(2)-2)
6	目指す教師像④ —教師観の確立のために—	3-2)	(2)-2)
7	教師の職務① —勤務実態と教職の特殊性、教員の多忙—	2-1)	(1)-2)、(3)-1)
8	教師の職務② —「チーム学校」の一員・組織における役割—	2-2)	(2)-1)、(4)-1)
9	教育をとりまく現状と課題① —不易の課題と流行の課題—	3-3)	(2)-1)、(4)-1)
10	教育をとりまく現状と課題② —演習「課題に対応する力」1—	3-3)	(2)-1)、(4)-1)
11	教育をとりまく現状と課題③ —演習「課題に対応する力」2—	3-3)	(2)-1)、(4)-1)
12	教育をとりまく現状と課題④ —演習「課題に対応する力」3—	3-3)	(2)-1)、(4)-1)
13	教員の身分② —教員の任免—	3-1)	(3)-2)
14	教員の身分③ —研修・サービス—	3-1)	(3)-2)
15	まとめ —教師をめざして—	1-1) 3-1) 3-2)	(1)-1) (2)-1)、2) (3)-2)
定期試験	実施する		
成績評価方法	定期試験（知識・理解）：30%、授業への取り組み（意欲・関心・態度）30%、演習・プレゼンテーション・レポート（思考力・判断力・表現力）40%		
テキストおよび参考文献	テキスト：『現代教師論』山口短期大学 資料プリントはその都度配布		
メッセージなど	「教師とはなにか」という原点に立ち、教職を目指す上での皆さん自身の課題の解明を中心に、「主体的で、対話的な、深い学び」を通して、自分の中にめざす教師像を創りあげてほしいと願っています。教職の必修です。		

ルーブリック評価を用いた成績評価

到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1)-1 学校教育の目的とその担い手である教職の存在意義を説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、説明できる。	間違いはいくつかあるが、説明できる。	説明できていない。	定期試験（知識・理解）	10%
(1)-2 教職の制度上の身分、専門職としての教員免許制度を自分の問題として説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、説明できる。	間違いはいくつかあるが、説明できる	説明できていない。	定期試験（知識・理解）	15%
(2)-1 教職の勤務実態を調べ、他の職業と比較した職業的特殊性を説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、説明できる。	間違いはいくつかあるが、説明できる。	説明できていない。	定期試験（知識・理解）	10%
(2)-2 学校の担う役割が複雑化・多様化する中で、いわゆる「チーム学校」という組織の一員としての在り方を具体的にイメージできる。	ほぼ完璧にイメージできる。	認識に大きな間違いがなく、具体的にイメージできる。	認識の間違いはいくつかあるが、イメージできる。	イメージができていない。	課題レポート（関心・意欲・態度・思考力・表現力）	10%
(3)-1 専門職としての身分保障、職務遂行の義務を踏まえて、生涯にわたって「学び続ける教師」であるための研修の全体像、権利と義務を具体的に説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、説明できる。	間違いはいくつかあるが、説明できる。	説明できていない。	定期試験（知識・理解）	15%
(3)-2 求められる教師像について考察し、めざす教師像を述べることができる。	ほぼ完璧に自分の考えを述べている。	大きな論理的な問題もなく、自分の考えを述べている。	認識にいくつか誤りがあり、誤字・脱字もあるが、最低限の自分の考えを述べている。	自分の考えを述べていない。	課題レポート（関心・意欲・思考力・判断力・表現力）	20%
(3)-3 教育をとりまく今日的な諸課題を把握し、対応の仕方について具体的に述べることができる。	ほぼ完璧に述べることができる。	大きな間違いがなく、具体的に述べることができる。	間違いはいくつかあるが、具体的に述べるることができる。	具体的に述べるできていない。	課題レポート（関心・意欲・思考力・表現力）	20%